

## 教育厚生委員会会議録

日時 令和5年12月18日(月) 開会時間 午後 3時18分  
閉会時間 午後 3時40分

場所 委員会室棟 第2委員会室

委員出席者 委員長 白井 友基  
副委員長 中村 正仁  
委員 久保田松幸 宮本 秀憲 伊藤 毅 寺田 義彦  
古屋 雅夫 菅野 幹子 志村 直毅

委員欠席者 なし

### 説明のため出席した者

教育長 降旗 友宏 次長(総務課長事務取扱) 小林 洋一

福祉保健部長 井上 弘之 福祉保健部次長 土屋 嘉仁  
福祉保健部次長 植村 武彦 福祉保健総務課長 小澤 理恵  
健康長寿推進課長 清野 浩 障害福祉課長 渡邊 文昭  
医務課長 若月 衛 衛生薬務課長 藤巻 勤

子育て支援局長 斉藤 由美 子育て支援局次長 三井 博志  
子育て政策課長 山本 英治 子ども福祉課長 篠原 孝男

### 議題

(付託案件)

第100号 令和5年度山梨県一般会計補正予算(第7号)第1条第2項歳出中教育厚生委員会関係のもの及び第2条繰越明許費の補正中教育厚生委員会関係のもの

審査の結果 付託案件については、原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 午後3時18分から午後3時40分まで教育委員会・福祉保健部・子育て支援局関係の審査を行った。

主な質疑等 教育委員会・福祉保健部・子育て支援局関係

※第100号 令和5年度山梨県一般会計補正予算(第7号)第1条第2項歳出中教育厚生委員会関係のもの及び第2条繰越明許費の補正中教育厚生委員会関係のもの

### 質疑

(福祉施設等物価高騰対策光熱費等支援金について)

菅野委員 福祉施設等の物価高騰対策光熱費等支援金について、支給額の設定に当たり、

事前に調査を行ったと承知していますが、薬局については、どのような調査を行ったのでしょうか。

小澤福祉保健総務課長 物価高騰対策光熱費等支援金につきましては、物価高騰に伴い、どのようなものが高騰しているのか、あらかじめ対象施設に聞き取りを行いました。薬局につきましても、昨年度に比べて、どのような消耗品が高騰していて、厳しい経営状況になっているかを確認した上で、物価上昇率等を踏まえ、算定しております。

菅野委員 調剤に係る消耗品については、今回新たに対象となったという理解でよろしいでしょうか。

小澤福祉保健総務課長 調剤に係る消耗品につきましては、今回新たに対象となります。

菅野委員 今回、医薬品購入額の実額を実際に調査したそうですが、実額の比較だけでは実態をつかむのには十分ではないと思います。例えば、高額医薬品を使う患者が多いか少ないか、また、その年の処方箋の受付枚数が多いか少ないかでも医薬品の購入額は左右されます。つまり、物価の影響を調べるには、売り上げである薬価収益も併記して、売上額に対しての仕入額、あるいは仕入れ率を見ないと意味がないと思います。そこで、仕入額に対する薬価の収益比率の調査は行ったのでしょうか。

藤巻衛生薬務課長 今回の補正予算は、あくまでも消耗品が対象になっておりますので、薬価についての細かい調査はしておりません。

菅野委員 私が事前に話を伺った薬局では、薬価等の調査をされたということだったので伺いました。その薬局によると、物価高騰の影響が強く出ているのは、今年度になってからだそうです。2021年度と2022年度を比較すると、薬価収益に対する仕入額は高くなっているけれども、2022年度から2023年度を比較すると、さらにその倍の影響が出ているとおっしゃっていました。今回の追加補正は、物価高騰の影響が強く出ている今年度分の支援金ですので、薬局に対する支給額の増額をぜひ御検討いただきたいと思います。いかがでしょうか。

小澤福祉保健総務課長 消耗品費と燃料費につきましては、薬局においては今年度分、薬局以外の公定価格が6月に改定になるところにおいては今年度分と令和6年4月、5月分、合わせて14か月分になっております。事前の聞き取りにより、施設の種別により、対象品目の違いや単価の違い等があるため、品目、施設によって6月補正の単価設定と比べて増額になったところ、減額になったところがありますが、聞き取りを行った上で適切に支援をしているものと考えております。

菅野委員 今年度、特に物価高騰の影響が強く出ていると現場ではおっしゃっていますので、今年度の状況調査も行った上で、引き続きの支援をお願いします。

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

その他 ・ 本委員会が審査した事件に関する委員会報告書の作成及び委員長報告については委員長に委任された。

以 上

教育厚生委員長 白井 友基